

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月14日
【事業年度】	第10期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）
【会社名】	株式会社みずほフィナンシャルグループ
【英訳名】	Mizuho Financial Group, Inc.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 佐藤 康博
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内二丁目5番1号
【電話番号】	東京 03(5224)1111(大代表)
【事務連絡者氏名】	主計部長 平間 久顕
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目5番1号
【電話番号】	東京 03(5224)1111(大代表)
【事務連絡者氏名】	主計部長 平間 久顕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年6月27日に提出いたしました第10期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

(1) 当連結会計年度の前4連結会計年度及び当連結会計年度に係る次に掲げる主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 1 業績等の概要

(参考1)

##### 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### 1. 業績の状況

(5) 自己資本比率に関する分析

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

(1)当連結会計年度の前4連結会計年度及び当連結会計年度に係る次に掲げる主要な経営指標等の推移

(訂正前)

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		(自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日)	(自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日)	(自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日)	(自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日)	(自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日)
連結自己資本比率 (第一基準)	%	11.70	10.53	13.46	15.30	<u>15.49</u>

(注) &lt;略&gt;

(訂正後)

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		(自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日)	(自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日)	(自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日)	(自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日)	(自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日)
連結自己資本比率 (第一基準)	%	11.70	10.53	13.46	15.30	<u>15.50</u>

(注) &lt;略&gt;

## 第2【事業の状況】

## 1【業績等の概要】

(参考1)

&lt;略&gt;

連結自己資本比率(第一基準)

(訂正前)

項目		平成23年3月31日	平成24年3月31日
		金額(百万円)	金額(百万円)
基本的項目 (Tier 1)	期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額 ( )	52,953	26,150
	繰延税金資産の控除前の基本的項目計 (上記各項目の合計額)	6,170,210	6,397,869
	計 (A)	6,170,210	6,397,869
	補完的項目 (Tier 2)		
	一般貸倒引当金	4,909	4,201
	計	2,103,408	1,745,113
	うち自己資本への算入額 (B)	2,103,408	1,745,113
控除項目	控除項目(注6) (D)	362,648	370,059
自己資本額	(A) + (B) + (C) - (D) (E)	7,910,970	7,772,922
リスク・ アセット等	資産(オン・バランス)項目	38,958,024	37,683,935
	オフ・バランス取引等項目	8,039,097	7,481,471
	信用リスク・アセットの額 (F)	46,997,122	45,165,406
	計((F) + (G) + (I) + (K) + (L)) (M)	51,693,835	50,165,922
連結自己資本比率(第一基準) = (E) / (M) × 100(%)		15.30	15.49
(参考) Tier 1 比率 = (A) / (M) × 100(%)		11.93	12.75

(注) 1. &lt;略&gt;

2. 「繰延税金資産の純額に相当する額」は平成23年3月31日現在471,169百万円、平成24年3月31日現在340,768百万円であり、「繰延税金資産の算入上限額」は平成23年3月31日現在1,234,042百万円、平成24年3月31日現在1,279,573百万円であります。

3~6. &lt;略&gt;

(訂正後)

項目		平成23年3月31日	平成24年3月31日
		金額(百万円)	金額(百万円)
基本的項目 (Tier 1)	期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額 ( )	52,953	25,065
	繰延税金資産の控除前の基本的項目計 (上記各項目の合計額)	6,170,210	6,398,953
	計 (A)	6,170,210	6,398,953
補完的項目 (Tier 2)	一般貸倒引当金	4,909	4,202
	計	2,103,408	1,745,114
	うち自己資本への算入額 (B)	2,103,408	1,745,114
控除項目	控除項目(注6) (D)	362,648	368,975
自己資本額	(A) + (B) + (C) - (D) (E)	7,910,970	7,775,093
リスク・ アセット等	資産(オン・バランス)項目	38,958,024	37,640,515
	オフ・バランス取引等項目	8,039,097	7,503,902
	信用リスク・アセットの額 (F)	46,997,122	45,144,418
	計((F) + (G) + (I) + (K) + (L)) (M)	51,693,835	50,144,934
連結自己資本比率(第一基準) = (E) / (M) × 100(%)		15.30	15.50
(参考) Tier 1 比率 = (A) / (M) × 100(%)		11.93	12.76

(注) 1 . &lt;略&gt;

2 . 「繰延税金資産の純額に相当する額」は平成23年3月31日現在471,169百万円、平成24年3月31日現在340,768百万円であり、「繰延税金資産の算入上限額」は平成23年3月31日現在1,234,042百万円、平成24年3月31日現在1,279,790百万円であります。

3 ~ 6 . &lt;略&gt;

## 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

## 1.業績の状況

(財政状態及び経営成績の分析)

## (5)自己資本比率に関する分析

(図表13) 連結自己資本比率(第一基準)

(訂正前)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)	比較
	金額(億円)	金額(億円)	金額(億円)
基本的項目(Tier )	61,702	<u>63,978</u>	<u>2,276</u>
その他	965	<u>1,275</u>	<u>309</u>
控除項目	3,626	<u>3,700</u>	<u>74</u>
自己資本額( + - )	79,109	<u>77,729</u>	<u>1,380</u>
リスク・アセット等	516,938	<u>501,659</u>	<u>15,279</u>
連結自己資本比率(第一基準) ( / )	15.30%	<u>15.49%</u>	<u>0.19%</u>
Tier 比率( / )	11.93%	<u>12.75%</u>	<u>0.82%</u>

&lt;略&gt;

自己資本は、連結当期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、少数株主持分ならびに負債性資本調達手段の減少等により、前連結会計年度末比1,380億円減少し、7兆7,729億円となりました。一方、リスク・アセット等は、前連結会計年度末比1兆5,279億円減少し、50兆1,659億円となりました。この結果、連結自己資本比率(第一基準)は0.19ポイント増加し15.49%、Tier比率は、0.82ポイント増加し12.75%、本源的資本の比率は、0.82ポイント増加し8.97%となりました。

(訂正後)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)	比較
	金額(億円)	金額(億円)	金額(億円)
基本的項目(Tier )	61,702	63,989	2,287
その他	965	1,264	298
控除項目	3,626	3,689	63
自己資本額( + - )	79,109	77,750	1,358
リスク・アセット等	516,938	501,449	15,489
連結自己資本比率(第一基準) ( / )	15.30%	15.50%	0.20%
Tier 比率( / )	11.93%	12.76%	0.83%

&lt;略&gt;

自己資本は、連結当期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、少数株主持分ならびに負債性資本調達手段の減少等により、前連結会計年度末比1,358億円減少し、7兆7,750億円となりました。一方、リスク・アセット等は、前連結会計年度末比1兆5,489億円減少し、50兆1,449億円となりました。この結果、連結自己資本比率(第一基準)は0.20ポイント増加し15.50%、Tier比率は、0.83ポイント増加し12.76%、本源的資本の比率は、0.82ポイント増加し8.97%となりました。